



## MICE サロン・ミーティング

### 「コンベンションビューロー、地域 PCO の未来」

モデレーター

長谷川 泰二 (はせがわ たいじ)  
とっとりコンベンションビューロー理事長

MICE サロン・ミーティングは、ひがし茶屋街の金箔のお店「箔座」の2階の和室を会場に車座になって行われました。ミーティングはグループディスカッションスタイルで、6つのグループに分かれて、2日間を振り返りながらそれぞれが直面している課題などを語り合いました。



#### 人間関係をつくる。 MICE にはネットワークが大切

長谷川 ■ 昨日と今日の午前中でかなり濃い話をしたと思います。かなり刺激的な話もいっぱいありましたし、金沢の文化、そしてこういう素晴らしい家並を見せて頂いたりして、少しずつクールダウンして自分の居場所に帰っていくというわけですが、我が組織を振り返ってみれば、今回のフォーラムで伺った話とかなり隔たりのあるギャップをどう埋めていくのかということが大事ではないかと思っています。

私も自分の小さな公益財団法人の改革に13年かかりました。具体的に言いますと全員プロパーでやっているの

ですが、今日の関係性ビジネスの話とか、まさにそうできて一生かけて人間関係を作っていく中でやっていく仕事の喜びというのが、我々の本当の喜びなんです。ですからうちの職員にも今研修をやっているのですが、自分たちのマイゴールはどこなんだという事をしっかりと考える癖をつける。今日の素晴らしい講師の方々の話を聞いていると、いかにそこにギャップがあるかという事です。けれどこれから地域のリーダーになっていかれる方々には、今日のものを自分の中でこなして、そして自分の地域の戦略としてしっかりと自分の仕事ができるかどうかというところに賭けてほしいわけです。情報をしっかりと伝えていく作業が必要になってくるのではないかと思います。

いろんな課題がビューローにはあります。学会中心に

やっていた方々にとっては国立大学の法人改革があって、かなり28年くらいから国立大学は劇的に変わってくると思うのです。ですから地方の大学の先生が同じように学会をしてくれるという保証はもうないのです。ほとんど旧帝大クラスの大学にいろいろな人材が集まり、いろんな事が起こってくる中で、全国学会的なものが今後増える可能性はないのです。そういう外的な要因がある中で、自分たちは誘致誘致と言って大学回りして、本当にいいのかということもあるはずだと。これも時代背景としてあります。

それからもう1つはやはり財団の職員は本当に小さな小さな組織で皆さんやっているといます。特にビューローはそういうところがあります。私は来年度以降から財団が転換を図っていくためにいろんな事をやろうと思っているのですが、1つは人事です。今回、私のところはプロパーの常務理事、事務局長人事をやりました。一切行政から迎えないという事として、その代わりそれだけの責任を持ってやっていくという事で、かなりリーダー研修などにも力を入れてやっています。やはり小さな組織ですので、なかなか人事異動はできません。やはり皆さん方のような志のあるビューローとかいろんな所と人事交流をしていくとかも含めたネットワークが出来て、一緒にやっという事が出来るようにとか、信頼のネットワークがないと出来ない事なので、ひとまずやってみようという準備に入っています。

私の所は一気に平均年齢が下がって、今年も新卒が入ってくるのですが、MICE やコンベンションを何のためにやるのかといった事を教育していくというのは、自分のところだけではなく、こういう連携の中で人が育つような仕組みをどう準備するのが大事です。我々の仕事というのは本当に手塩にかけて、育てないとなかなか育たないですね。ですから自分の人生のマイゴールはどこなんだという事を明確にしてあげる作業というのを我々は今ずっとやってきました。地方のビューローが残れるとか、地域のPCOが残れるかというのは、残らなければいけないのはどうしてかという、ビューローは誘致の職員ではなく、私たちはまちづくりの職員だと思っています。

やはり産業を育成していく担い手としての強力なパワーを持っていないといけないので、相当先が見えない社会の中で、ここは皆さん方の妄想力を持つべきだと思います。妄想出来ない人間はこれから先、夢は語れな

いしビジョンも作れない。その妄想を構想にしていく力が必要です。それを実行していく力が必要だという事ですが、まず妄想する事です。出来るか出来ないかを考えないで、まず妄想する力を人間は内発的に持っているのです。ところがかなりいろんな事で効率的に上手に生きていく事が重宝がられている社会ですと、そんな夢みみたいな事と言ってとなりますが、私はそうやって40年くらいやってきて組織の改革が出来たとは思っています。ですからこれから是非皆さん方が地域に帰られた時にいろんな難問があるでしょうが、それをこの仲間に相談できるというネットワークを是非作るという事です。私はしつこい性格で一度名刺交換したらずっと追いかけていきます。向こうが偉くなってもどんどん追いかけます。やはりその関係性をどうやって強化して自分のアドバイザーにしていけるかどうかというのは、待っていたら来ませんよ。自分のほうから行かないと絶対に会ってくれないし、その関係は続かないです。やはり会いたくなる人間同士の関係をどうやって作るかという事。そうするとその人は自分の事はさし置いて会いに来てくれます。そういう人間関係というものの面白さ楽しさとか、その事に対する期待感というものがこの仕事の面白さだと私は思います。

人間に惚れさせる、惚れていくというような関係性がないと、2、3回行って断られたら終わりみたいな事を言っているとほとんどこの仕事はうまくいかないと思います。その辺の執着心を是非持って頂きたいと思っています。そういう思いで今まで13年間いろいろ改革に取り組んで一応形は出来ましたので、この春で退任して晴れて自由の身になるわけですが、そのほうが全国を動き回って皆さん方に教を乞いたいと思っていますのでよろしく願いいたします。

藤田 ■ 長谷川さんが言われたように消化不良で帰る事に



ならないように、ではグループに分かれて話し合ひましょう。

**長谷川** ■ 10分くらいで発言のまとめ、不足の補いなどをして頂き、発言者を決めてご報告下さい。よろしくお願いいたします。6チームありますが、1チーム3分で報告をお願いします。

## MICEの実践を通じた イノベーションへの挑戦を

**グループ1** ■ いろんなレベルでいろんな問題点があるのではないかという話が出ていました。今後、インバウンドだとか誘致するに当たっているようなネットワークを使ってやるというそれぞれの都市の強みを生かし、良い意味の話し合いが必要ではないかという事があります。いろんな問題については、担当者が継続して仕事が出来ない事。5年、10年と継続して担当者いて、窓口が出来て話が出来来る仕組みをどんどん作っていかねばいけないという話がありました。

**グループ2** ■ 個人で参加した沢井です。地域活性化というキーワードに惹かれてとりあえず参加した者です。MICEやインバウンドという言葉も全く知らずに来たものですから、そういうワードをまず理解するところから始まったので情報取得のレベルでしたが、とても刺激的な2日間でした。ビデオの中で浅井さんが言われていたように、人が集まるプラス4原則。その中の目的を持った人たちが集まるというところで、これだけの人達が集まる機会がこのようにあるという現実を知る事が出来ました。今までは机上の知識でしたが、今回のように実体験でいろいろ知る事が出来て本当に良かったと思います。

経済的効果という意味では、私はまだ稼ぎのない学生なので、経済効果として出せるものではありませんが、ここで得た知識をもとに新たなイノベーションなどに挑戦する



事が MICE というものの実践になるのではないかと思うので、今日の体験を胸に今日から行動に移せるようにしたいという決意を表明させていただきます。MICE がどれだけ役に立つものかを世の中に実現できるようになれば本当にいいなと思います。

## 地域からもダイレクトに 国際ネットワークに飛び込む

**グループ3** ■ 地域でやっている PCO の話を少しさせて頂きました。話をしていくと地域によって業種ごとに全部一致していないと言うか、例えば PCO がある地域でやっているような事も別の地域ではビューローがいろいろ細かなところまでやっているとか、地域地域でいろんな形が出来ているのではないかという現状の話がありました。これからどのようにしていかなければならないかについては、地域からもダイレクトに国際的ネットワークに飛び込んでいなくてはならないという事が1つ大きな事としてありました。今、ICCA の国内組織も9つだけという現状だったり、松田さんが言われた国際会議に日本からの参加者がいなかったりという、そんな所を打破して行って、前向きに向かっていく地域こそが生き残っていけるのではないかという話になりました。

**グループ4** ■ 我々のチームは富山、沖縄、ロシア、静岡、福岡のメンバーで、私は札幌と東京で営業しています。富山から鳥取の13年間の指導方法を改めて教えてほしいという要望がありました。また、富山から MICE を獲得するに当たっては民間と行政とのネットワークを充実させてステップアップしていくという事が大事ではないかとの意見が出ました。

沖縄からはやはり行政と民間との温度差を無くしたいと。そうする事がネットワークにも大切であるという意見が出ました。ロシアからはネットとブログを使って自分たちを





表現して人を呼ぶという具体的な事例が出ました。静岡からは以前、金沢の担当者と名刺交換した事によって今回こちらに来るきっかけになったと。自分の地域と他の地域は非常に異なっている事も分かったので、これを具体的にどうやって自分の地域に反映させていったほうがいいだろうかという事を考えている。やはりニセコからの話題提供も非常に大きい事であったというような事が出ました。私からは初日の第1分科会でも話が出ましたが、美術館などが絵画の展示だけをするのではなく、今後はいけばななど水を使用した作品展やパーティーもやる方向に変わってきているという事を聞き、状況の変化があるという事を申し上げました。福岡からは広域連携、それから行動するに当たってPCOと事業者、ビューロー間のネットワークづくりが大事だという話が出ました。その中からお金が十分でない、情報の模索、取り方、変化への対処法、人間関係づくりなどが大事ではないか等の意見が出ました。

### 人材育成、リーダー育成が重要な課題

**グループ5** ■分科会で軽井沢の佐藤さんからお話がありましたが、佐藤さんのところでは民間の協議会組織で、行政からお金も人も入っていない状態で活動しているということでした、果たしてビューローという組織を今から作るべきかどうか。行政からのお金を入れ、人を入れる事によってマイナスの部分も出てくるというところがあって、非常に今課題を抱えているという話がありました。札幌のメンバーの方がおられて、ネットワークやプラザが非常に良好な関係を築いておられて、成功事例と思っております。それを金沢でも同じような形をとというのは、1つのスタイルとして真似をしようというか、参考にしようやってきたのですが、これがなかなか難しく、地域性と言うかいろいろありましてなかなかうまくいかないと。そういうような課題が出ました。ビデオ講演がありました。私は浅井先生と平

成19年からお付き合いをさせて頂きまして、かなり親しくさせて頂き、良い話をいっぱい聞かせてもらったのですが、MICEはコミュニケーションの場として非常に重要なのだと。自分が理解したのは、当時コンベンションビューローにおりましたので、この通信環境が発達してテレビ会議でも可能なのに、わざわざどこかに集まってもらって膝突き合せて面と向かってコミュニケーションする。この素晴らしさを我々は皆さんにお奨めするわけですから、その良さを一番感じなければいけないのは自分たちであって、そうでなければそれを奨められないわけです。けれど残念ながらビューローにいるスタッフはそんな事は全然考えてもいない。自分たちのビューローの中のミーティングだって邪魔くさがってやらないのに、人にミーティングを奨めるのはどういう事ですか、みたいな話があって、その辺を意識的なものも含めながら人材育成、あるいはリーダー養成とかが非常に重要な話でないかなと常々思っております。もう1つ言いますと、その話は私がビューローにいた頃からずっと言われているのですが、かれこれ何年も経ちますが、未だに解決されていないという事がありますので、何か構造的な問題と言いますか、何かあるのではないかと思っております。

**グループ6** ■名古屋コンベンションビューローで国際会議場を担当してまして、日本の会場施設の多くは公の施設なので、料金なども条例で決められているものが多いのですが、1つは大事なコンベンション、MICEといったものよりも一般的な催事やコンサートといったもののほうが、利用率あるいは収益も非常に大きいという事があると。そういう中でもう少しMICEを受け入れる側として施設のほうにいろいろな工夫が求められるのではないかなと。例えばMICEであれば規模の大きいものは当然ですが、他よりも早く予約受付ができるとか、あるいは営利目的の催事、非営利でやる催事と分けるとそれぞれに料金の差をつ



けるとか、そういったものをもっともっと進めて施設の収益性もそれで改善できるであろうし、もう1つは都市にとって追いかけてい MICE の獲得にもつながるのではないかと  
いったような事がありました。

それに絡めて会議場施設を造るだけではなくてホテルについても、名古屋もそうですし大都市のホテルは非常に稼働率が高いので、9割を超えてくると果たして稼働率だけ高ければいいのかという話も出ますし、さらに収益性を求めるという観点では客単価と言いますか、ツイン、ダブルの室に1人で泊まるお客さんよりも、さらに2人で泊まるお客さんを追い求めていかなければならないと思うのですが、そういったホテルの方向性と MICE に携わる我々の

方向性とをどうやって合致させていくのかということも課題としては挙げられたかと思います。

長谷川 ■ありがとうございました。6グループのお話を皆さんで共有出来たかと思っております。是非また来年、岡山でお会いしたいと思います。連続的に話をしていくという事が大事だろうと思いますし、集まる事も大事ですので何はともあれ集まってお互いに叱咤激励し合っていきたいと思います。今回も札幌の皆さん、金沢の皆さんに支えて頂き、お世話になって無事に皆さんで議論出来た事に感謝いたします。本当にありがとうございました。

